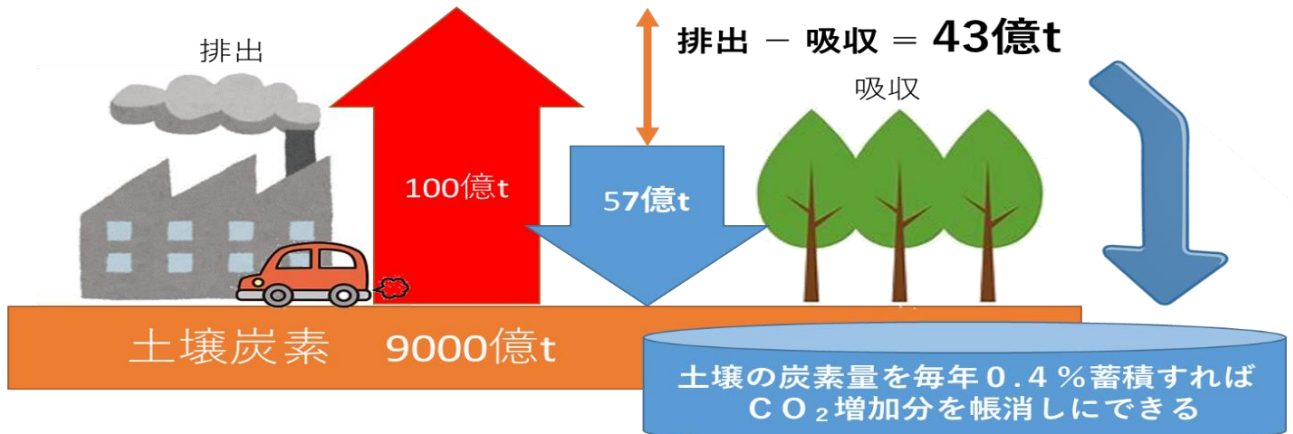


果樹園に炭素を貯めて地球温暖化対策 ～山梨県の4パーミル・イニシアチブの取り組み～

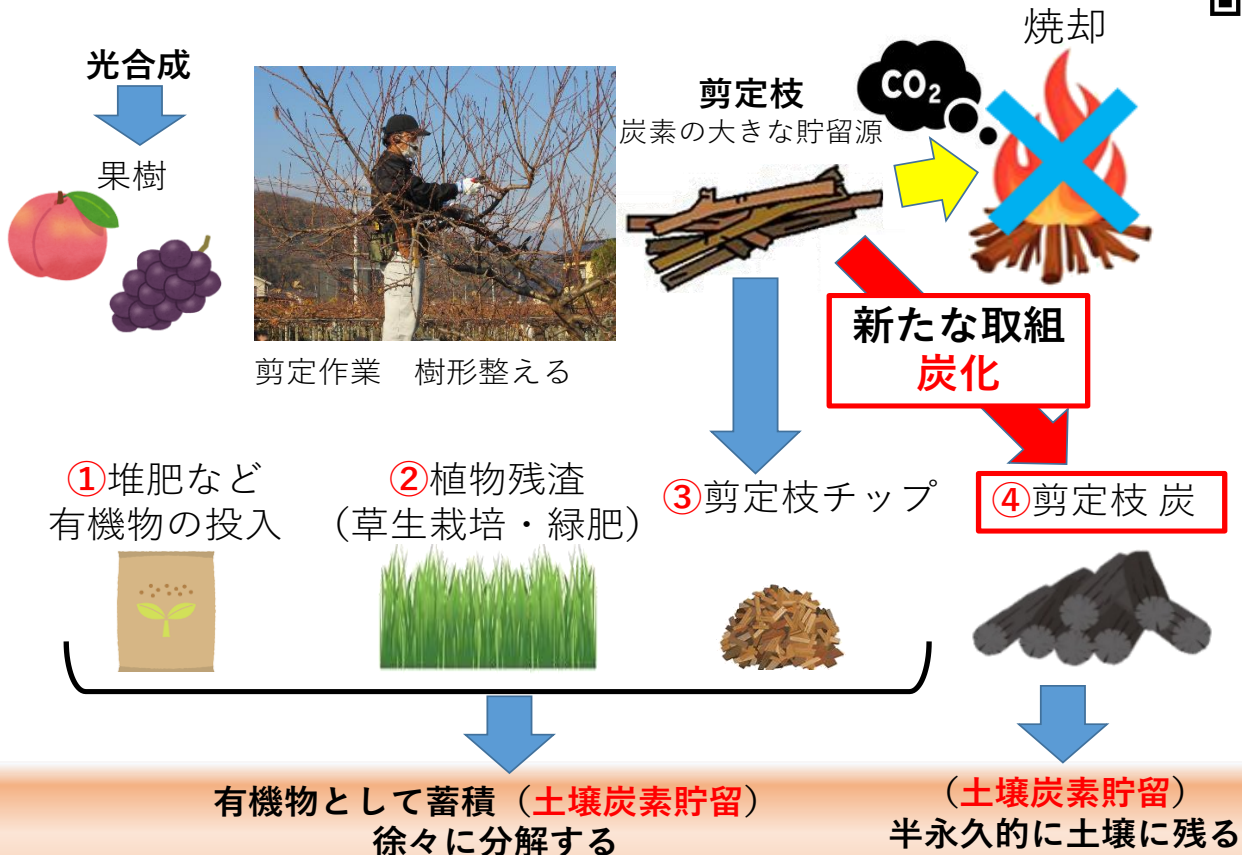
4パーミルイニシアチブとは

◆土壌中の炭素を毎年4パーミル（0.4%）増加させることで、化石燃料などの燃焼により増加するCO₂（43億トン）を実質ゼロにできるとする理論に基づき、土壌の炭素量を増やす活動を推進する国際的な取り組み。



果樹園での4パーミル・イニシアチブの取り組み

詳細は →



果樹園で発生した剪定枝をすべて炭にして土壌に投入すると土壌の炭素は4パーミル以上増加する。

剪定枝の炭化方法

- 持ち運びが可能な、簡単な炭化器を使用
- 剪定枝を圃場で炭化し、生成したバイオ炭はその圃場に投入



無煙炭化器

バイオ炭の作成方法



よく乾いた小枝や新聞紙等にガスバーナーで着火し、おき火をつくる

【重要】おき火をしっかりとつくる



燃え始めは、白煙が出る

【重要】乾燥が不十分であると白煙が多くなる



炎に勢いが出たら、剪定枝を順次投入

【重要】火傷に注意



炭化器の8割程度まで炭が貯まり、燃烧がある程度収まった時点で攪拌



全体が白くなった時点で、十分量の水で放水し消火

【重要】消火が不十分だと再発火することがある



バイオ炭の完成

その他の留意点

- 剪定枝の乾燥期間は、ももで1ヶ月、ブドウで2ヶ月程度
- 周辺環境に悪影響を及ぼすような燃焼は行わない(事前に市町村に確認する)
- 消火用水の事前準備など、火災防止対策を十分講じる

問い合わせ先

山梨県総合農業技術センター 0551-28-2496

山梨県農政部 農業技術課 055-223-1619

ロゴマーク



YAMANASHI
4 per 1000
INITIATIVE

認証を野菜、作物へ
拡大しました！

詳細は

